

第2回 IGF NRI 会議報告

開催日時：2025年2月28日（金）0時～1時26分（日本時間）

参加者数： 64名

日本からの参加者： 加藤幹之、河内淳子、山崎信

2025年2月27日、IGF（インターネット・ガバナンス・フォーラム）NRIs（国別・地域別イニシアティブ）の第2回会議が開催された。本会議は、2025年6月23日～27日にノルウェー・リレストロムで開催される第20回IGFに向けたNRIセッションのテーマの確定と、会議の運営に関する課題について議論することを目的とした。会議は国連IGF事務局Anja Gengo氏の進行のもと実施された。

主要な議論内容

1. IGF 2025 に向けたセッションテーマ

72のNRIから提出された調査結果は、下記のような順番となった。2)「デジタル信頼性とレジリエンス」と3)「デジタル協力」は同じ票数だった。一部の課題については統合できる可能性があるとの意見も出された。

1) 普遍的アクセスとデジタル権利

- 地域接続・コミュニティベースのネットワーク、アフォーダンスによるユニバーサルアクセスのためのソリューション。このトピックは、能力構築と組み合わせることができる。
- デジタルリテラシーとインターネットアクセスの費用負担

2) デジタル信頼性とレジリエンス

- サイバーセキュリティの脅威へのとサイバー犯罪
- 子どもたちのオンライン安全

3) デジタル協力

- インターネットガバナンスに対するマルチステークホルダーアプローチの強化（NETMundial、GDC、WSIS+20、SDGs／2030 アジェンダなどの重要なプロセスを考慮する）と政策への影響力向上

4) 持続可能で責任あるイノベーション

- データガバナンス：個人および組織のデータの透明性、保護、責任ある利用の確保。これは AI の文脈でも検討できる。

最終的に 4 つのテーマに絞り込むため、さらなる意見調査を行うことが決定された。また、WSIS+20（世界情報社会サミット 20 周年レビュー）、グローバル・デジタル・コンパクト(GDC)、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ／持続可能な開発目標(SDGs) との関連性を考慮する必要があるとの意見が多く出された。

2. IGF 2025 における NRI セッションのスケジュール

- 開催国側から、すべての NRI セッションを 1 日で実施する「NRI デー」の提案があった。多くの参加者は、セッションを分散させる方がより広範な参加と注目を集められるのではないかという意見だったが、検討する価値があるとの意見もあった。
- また、メイン会議場ではテーマ別の日程にするという案もあるとのこと。
- 今後、開催国から詳細な情報を受け取った後、最終的な決定が行われる予定。
- 今年の IGF ではセッション数およびセッション会場が少ないことを踏まえ、NRI 共同セッションの時間を 60 分に短縮することも検討すべきである。
- さらに、効率的なサポート形式を備えた、焦点を絞ったセッションとすべきである。

(その後の進捗は「[NRI セッションに関するその後の進捗](#)」タブを参照のこと。)

3. WSIS+20 レビューへの NRI 貢献

- Tijani Ben Jemaa 氏が、WSIS+20 レビューへの NRI の貢献について提案を行った。
 - 政治的要素を排除し、実質的な行動につながる提言を行うべきとの意見が強調された。

- 各国・地域の NRI がどのように WSIS アクションラインの実施を評価するか、改善点を提案するかを検討する必要がある。
- NRI の立場をまとめるため、ワーキンググループを設立する方向で議論が進められた。

(その後の進捗は「[WSIS+20 への貢献案](#)」タブを参照のこと。)

4. 今後の進め方

- セッションテーマを確定するため、NRI メンバーに対しアンケートを実施
- テーマごとのワーキンググループを設立し、各セッションの具体的な内容を検討
- WSIS+20 レビューへの NRI の貢献方法を確定し、関連するフォーラムへ提言

本会議では、IGF 2025 の成功に向けた戦略的なアプローチの必要性が強調され、引き続き意見を集約しながら準備を進めることが確認された。